



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



史上最速の梅雨明け、続く暑い日。体調管理をしっかりと！

－ Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

6月14日に梅雨入りし、昨日、梅雨明け、史上最速とのことです。昨年は早い梅雨入り、今年は早い梅雨明けです。何か、大きな気候変動が…といったことを想像したりもしますが、気候変動というものは、かなり長期的な視点で見ていくものだという事です。

さて、本当に毎日暑い日が続いています。夏本番を思わせるといった感じです。このような中ですが、昼休みなど、運動場を駆け回っている子供達を見ていると、本当に子供達って元気だと思います。この元気さ、逞しさ、嬉しいですね。ただ、**こう暑い日が続くと心配なのが熱中症です**。保護者の皆様もご心配が尽きないことと思います。一昨日の一斉下校時、全員にマスクを外すよう子供達に声掛けをしていました。その時、ずっと外せた子供、何となく躊躇した子供、周りの様子を伺った子供等、その反応が複雑でした。確かにここ2年、マスクを着けて当たり前の状況が続いています。私達、大人にとってもこのマスクの着用は、当たり前のこととして受け入れられています。ですからマスクを外すことについて、ずっと行動に移せなかったのかなあと思いました。そのようなこともあり、昨日、朝会で、次のような話をしました。熱中症とはどんなことか知っていますか。熱中症は、暑さによって、体温調節機能が乱れたり、体内の水分量・塩分量のバランスが崩れたりすることが原因でおこる様々な体の症状のことです。この熱中症で、一番心配していることは、登校の時、下校の時です。昨日、「マスクをはずしましょう。」という話があったとき、「皆さんはマスクをはずすことを不安に思っているのかな？」「えっ！マスクを外しても大丈夫なの？」と思っているのかなと皆さんの様子を見ていて感じまし

た。そこで、これらのことが守られていたら、マスクをしなくてもいい、はずしていいということがあります。それは、3つあります。一つ目、屋外であること。つまり、建物の中ではなく、外であるということです。二つ目、人と人との距離を1m～2mとること。三つ目、大声で話さないことです。登校時、下校時、この3つのことが大丈夫か考えてみましょう。一つ目の屋外については、どうでしょうか。そう、外ですね。大丈夫です。二つ目、人と人との距離はどうでしょうか。そう、少し難しそうです。でも、考えてみましょう。歩いている時、お互いが向かい合っていますか。そう、みんな前を向いている。対面している訳ではないのです。大丈夫です。三つ目、大声で話さないということ。これはどうでしょうか。みんな歩いている時、たまに大声も聞かれることがあるかもしれません。でも、長い時間、例えば、10分とか15分とか、聞こえ続けたり、話し続けたりしますか。そう、そんなこともなかなか無いです。大丈夫です。それでは、○か×か整理してみましょう。この3つのことは、①屋外であること（○）、②距離がとれている（○）、③大声を出さないこと（○）ということになります。では、尋ねます。登校時、下校時にはマスクを外しても…どうですかと尋ねると「大丈夫」という答えが返ってきました。子供達は頭では理解できたと思います。ただ、そうは言っても先述した通り、様々な要因があり、その通り行動しにくい、できにくい場合もあるかと思われます。学校では継続して声を掛けていきます。ご家庭でも声掛けの方をよろしくお願い申し上げます。子供達に話をしながら、「正しく、適切に判断し、行動すること」が如何に難しいか、そして、如何に大切かということのを改めて思いました。そのことが、自分にとってどの程度必要なことなのかをしっかりと見極め、実行する力が大切であると考えます。

中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と相互に連携を深め児童にとって、「明日も行きたい！学びたい！学校」を目指し、様々な教育活動を進め、共に歩んでいきたいと願っております。